

# この街が 好きだから

みんなで手を携え、支え合い、ぬくもりのある街にしていきたい。  
そんな思いを胸に、地域でグループで、生き生きと活動を続ける人たちがいます。

## 外国人向け情報誌を毎月発行し28年

### 北海道国際女性協会

昭和五十年に結成された北海道国際女性協会は、本市の国際交流関連ボランティア団体の草分け的存在の一つ。「結成の中心となったのは、札幌オリンピックで案内や通訳に携わった皆さんでした」と語るのは会長の鈴木美保さんです。当初から続いている活動は、在住外国人向けの英語情報誌の発行。毎月の誌面には、ごみの分別やデパートの安売り、映画の情報といった、言葉の通じない土地で生活する方に役立つ情報がいっぱいです。事務局長の宮崎博美さんは、「夫の転勤などで海外に住んだことのある会員も多く、編集にはそんな自分たちの経験も生きています」と話します。



日本文化を紹介する会の一コマ。着付けは女性に大人気です。右は、英語情報誌What's on in Sapporo?

現在、会員数は約二百人で、外国人への日本語指導や通訳、案内をはじめ、活動は多方面

にわたります。着付けやお茶など日本文化の紹介や、留学生の生活を助けるために始まったバザーなど恒例行事も多彩です。また、ボランティア活動と並ぶ目標の柱は、自らの学習。会員のための英会話教室や、外国人講師を招いての国際的視野を広げる懇談会などにも力を入れています。「当初、情報誌の編集では、必要な情報をもたらうために会の趣旨を理解してもらうだけで大変だったようです」と宮崎さん。外国語の表記が街の中に増えたり、多くの市民が外国人と気さくに接するようになったりといった着実な国際化を肌で感じています。

鈴木さんは

「それぞれの会員に合った分野で活動できるよう、今後も幅広い活動を続けていきます。皆さんもぜひお仲間にな」と呼び掛けます。女性であれば資格や経験は問いません。詳しくは、同協会 ☎(221) 3501へ。

## わくわく

## 子育て通信

「ばばちゃんとおそぼー」は、自由でくつろげる時間です



中央区・山鼻児童会館の行事で活躍する  
山鼻の 庄野 節子さん

山鼻児童会館の児童クラブに通っている孫を迎えに行くうち、職員の方とも顔なじみに。そんなある日、館長から「小学生のいない平日の午前中、児童会館で子供を遊ばせている若いお母さん方の話し相手になってもらえないか」という話があったんです。そして昨年四月、毎月第二、第四火曜日の「ばばちゃんとおそぼー」がスタートしました。集まるのは、生後間もなくから三歳くらいまでのお子さんとお母さん。ペットボトルや段ボールを利用した遊具で遊んだり、子供たちの成長の話で盛り上がりたり、あつという間の一時間半です。

児童会館では、市の子育て支援事業の「子育てサロン」も毎週行われていて、五十組を超える親子が集まっています。



庄野さんの手づくり遊具に子供たちも大喜び。この行事について詳しくは、山鼻児童会館 ☎561-6220へ

最近、小学生の孫が、自分の通っていた保育園に行っただけで、小さな子供たちと遊んでいるらしいの。これって、もしかしてボランティア？私の性格が遺伝したのかしらなんて、思っているんですよ。(談)